

問1

- ① ○ ② ○ ③ × ④ × ⑤ ×

受験番号

氏名

※

※の欄には、記入しないこと。

問2

円安が進むことで、小麦の輸入価格が上昇し、その結果、小麦を原材料とするパンの価格も高騰し、いつでも買えるような商品ではなくなってしまうこと。

70

15

問3

食品の廃棄処分をする際には、それを可燃ごみとして燃やすため、温室効果ガスの排出や、焼却後の灰の埋め立てなどが生じてしまい、環境に負荷を与えてしまうから。

80

15

問4

日本の食品ロスを減らすために、家庭でできることは、「買いすぎない」「ことや「作りすぎない」「こと、「食べきる」ことなどがあると考えられる。そのためには、買い物に行く際には必要な分だけを購入し、料理を作る際には消費期限を確認して食材を使い切り、食べる人の健康や体調に合わせて食べきれぬ量を作るようにすることが必要である。また、食品が余ってしまった場合には、フードドライブに活用することなども有効だろう。

国や地方自治体の取り組みとしては、食品ロスの実態調査やその効果的な削減方法に関する研究をもとに消費者・企業への情報提供・啓発活動を行うことや、フードバンク活動などの取り組みへの支援を行うことが必要だと考える。また、企業では技術開発を進めて食品の消費期限を延長したり、個包装によって食べ残しを防いだりする取り組みも必要だ。このような理解や協力を得るためには、国や地方公共団体、企業の連携が欠かせない。

400

60